

かまくら 女性史の会 Newsletter

第 134 号

2026 年 1 月 17 日 発行

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

NPOセンター鎌倉 気付

メールボックス 26

E-mail: syokmat@yahoo.co.jp

《かまくらの保育Vー尽力した女性たちー》

鎌倉市図書館と利用団体による実行委員会主催「ファンタスティック☆ライブラリー」を発表の場として続けてきた「かまくらの保育」シリーズが5年目となった。(2025年12月6日7日、巡回展示予定)

明治以降の西洋思想の移入、生活の貧困、戦中と敗戦、その後の高度経済成長、第2次ベビーブーム、母親たちの就業、現在の少子化等、就学前の子どもを取り巻く環境は大きく揺さぶられてきた。かまくら女性史の会は1896年に設立された腰越保育園から1985年に立ち上げられた青空自主保育なかよし会まで55の鎌倉の幼稚園、保育園を調べ検証した。社会の変遷の中で多くの保育施設が使命感を持って作られ、継続し創造しながら子どもたちにより良い日々を与えてきたことが分かる。90年の歴史の中から以下、特色ある女性たちの取り組みを取り上げた(展示文は鎌倉図書館HPに掲載予定)。

- ① 佐竹くま(1876-1959)と三人の娘たち 里(1896-1976) 伸(1898-1996) 花(1899-1992)
(鎌倉小児保育園 1906年-)
- ② 創立116年歴史の中の3人の女性 フローラ・ベスト・ハリス(1850-1909) 美山豊子(1888-1914)
新美昭子(1921-2016) (ハリス記念鎌倉幼稚園 1909年-)
- ③ 小川琴(1880代-不明) (明治幼稚園 1910年頃-1923年)
- ④ 久野タマ(1889-1985) (潤光幼稚園 1929年-1936年頃)
- ⑤ 河井多喜子(1916-1999) (聖路加幼稚園 1947年-)
- ⑥ 鈴木マツ(1892-1952) (富士愛育園 1954年-)
- ⑦ 聖母訪問会のシスターたち (モンタナ幼稚園 1955年-)
- ⑧ 丸エキ(1907-2002) (丸新生児・乳児保育所 1955年-1997年)
- ⑨ 深沢保育所設置の会 中村洋子(1936-) 智谷明子(1932-死去) 井上てい子(1939-) 坂本妙子(1937-死去) 風間慎子(1932-) (深沢保育園 1966年-) (たんぽぽ共同保育園 1967年-)
- ⑩ 梶田三四(1916-2011)と橋本志津恵(1950-) (ピヨピヨ保育園 1968年-)
- ⑪ 野上澄江(1917-2011) (西鎌倉幼稚園 1969年-)
- ⑫ 相川明子(1951-) (青空自主保育なかよし会 1985年-)

上記13の施設は深沢保育園を除きすべて私立園であり、それぞれに状況は異なるがどの施設も設立の苦労は言うまでもなく、その後の運営も楽ではない。しかし子どもの命を守り子どもの人権を尊重し社会の一員としてより良い環境で子どもたちを育てたい、働く母親たちを支え応援したいと奮闘し困難を乗り越える粘り強い生き様があった。 2026年1月13日 かまくら女性史の会会員 横松佐智子